

インデックスファンドNifty50 (インド株式)

運用報告書（全体版）

第 1 期（決算日 2025年 9 月26日）

受 益 者 の み な さ ま へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「インデックスファンドNifty50（インド株式）」は、2025年 9 月26日に第 1 期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型		
信 託 期 間	2024年10月7日から原則無期限です。		
運 用 方 針	主として、「インデックス マザーファンド インド株式」受益証券に投資を行ない、インドの株式市場を代表する指数（Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。		
主要運用対象	インデックスファンドNifty50（インド株式）	「インデックス マザーファンド インド株式」受益証券を主要投資対象とします。	
	インデックス マザーファンド インド株式	インドの金融商品取引所に上場されている株式および株価指数先物取引に係る権利ならびに内外の短期公社債などを主要投資対象とします。	
組 入 制 限	インデックスファンドNifty50（インド株式）	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	インデックス マザーファンド インド株式	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。		

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目 7 番 1 号
www.amova-am.com

2025年9月 1 日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<645125>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前 9 時～午後 5 時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）		株 式 組入比率	株 式 先物比率	債 券 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(ベンチマーク)	期 騰 落 中 率					
(設定日)	円	円	%		%	%	%	%	%	百万円
2024年10月7日	10,000	—	—	100.00	—	—	—	—	—	50
1期(2025年9月26日)	9,427	0	△5.7	92.90	△7.1	—	101.1	64.1	—	358

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
- (注) 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
- (注) Nifty50指数は、インドのナショナル証券取引所に上場している企業のうち、時価総額や流動性などを勘案して選ばれた50社の株式で構成される株価指数です。同指数の（税引後配当込み、円換算ベース）とは、現地通貨ベースの税引後配当込み指数値をもとに、アモーヴァ・アセットマネジメントが円換算したものです。なお、設定時を100として2025年9月26日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率				
（設定日）	円	%		%	%	%	%	%
2024年10月7日	10,000	—	100.00	—	—	—	—	—
10月末	10,173	1.7	99.66	△ 0.3	—	98.6	71.9	—
11月末	9,747	△ 2.5	95.29	△ 4.7	—	99.3	73.7	—
12月末	9,994	△ 0.1	98.51	△ 1.5	—	101.0	75.4	—
2025年1月末	9,418	△ 5.8	92.63	△ 7.4	—	102.2	78.1	—
2月末	8,743	△12.6	86.39	△13.6	—	103.1	81.6	—
3月末	9,265	△ 7.4	92.23	△ 7.8	—	100.1	63.1	—
4月末	9,146	△ 8.5	91.10	△ 8.9	—	99.0	59.4	—
5月末	9,393	△ 6.1	94.16	△ 5.8	—	99.6	68.5	—
6月末	9,763	△ 2.4	97.05	△ 3.0	—	99.6	63.3	—
7月末	9,514	△ 4.9	94.76	△ 5.2	—	101.2	66.8	—
8月末	9,215	△ 7.9	90.89	△ 9.1	—	101.6	65.4	—
（期 末）								
2025年9月26日	9,427	△ 5.7	92.90	△ 7.1	—	101.1	64.1	—

（注）騰落率は設定日比です。

（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

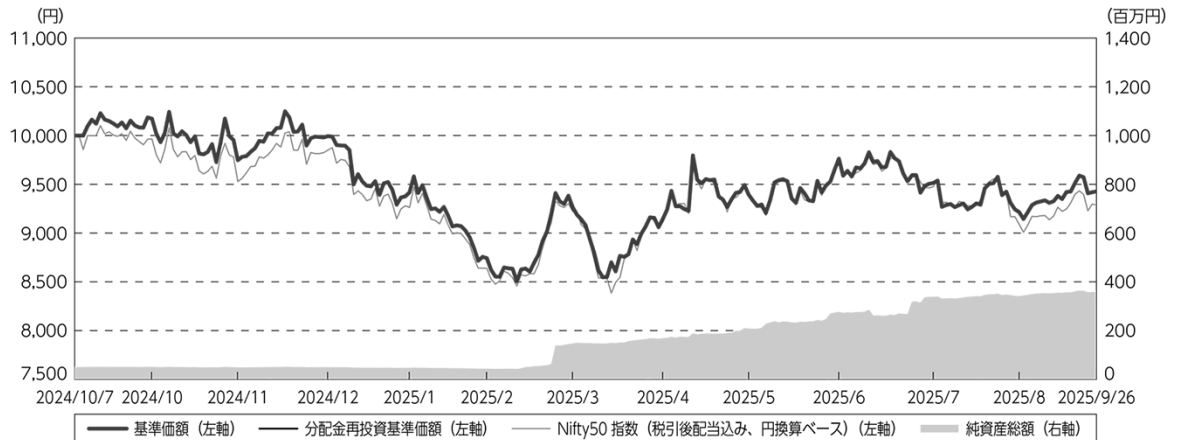
（注）株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

（注）債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○運用経過

(2024年10月7日～2025年9月26日)

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,427円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 5.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてインドの金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に投資しつつ、インドの株価指数先物取引などを活用する方法、または主として内外の短期公社債に投資しつつ、インドの株価指数先物取引などを活用する方法を用いて、インドの株式市場を代表する指数（Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・インド準備銀行（RBI）が利下げを実施したことや大規模な金融緩和政策を実施し景気支援のスタンスを強化したこと。
- ・米国が日本や欧州連合（EU）と当初の関税率を引き下げることで合意し米国の相互関税による世界景気の過度な下振れ懸念が和らいだこと。

＜値下がり要因＞

- ・インド主要企業の決算が低調となりインドの景気減速が意識されたこと。
- ・インドと米国との貿易交渉で農産物市場を巡る対立が伝わったこと。
- ・インドルピーが円に対して下落したこと。

投資環境

（インド株式市況）

インド株式市場では、株価は期間の初めと比べて下落しました。

期間の初めから2025年3月中旬にかけては、市場予想を下回る経済指標を受けて米国の景気後退への警戒感が高まったことや、米国で新政権が発足し追加関税を巡る不透明感が強まったこと、インド主要企業の決算が低調となりインドの景気減速が意識されたこと、外国人投資家によるインド株式の売り越し基調となったことなどが株価の重しとなり、株価は下落しました。3月下旬から期間末にかけては、インドと米国との貿易交渉で農産物市場を巡る対立が伝わったことや、米欧が制裁しているロシアからの原油輸入を理由にインドが追加関税を課されると伝わり貿易摩擦の長期化が意識されたことなどが株価の下落要因となったものの、RBIが利下げを実施したことや大規模な金融緩和政策を実施し景気支援のスタンスを強化したことに加え、米国が日本やEUと当初の関税率を引き下げることで合意し米国の相互関税による世界景気の過度な下振れ懸念が和らいだこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）が追加利下げに踏み切り投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどが支援材料となり、株価は上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「インデックス マザーファンド インド株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（インデックス マザーファンド インド株式）

主として内外の短期公社債に投資しつつ、インドの株価指数先物取引などを活用する方法を用いて、「Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的のため、株価指数先物取引および外国為替先物取引ならびに外国為替予約取引などを活用しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、5.7%の値下がりとなり、ベンチマークである「Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）」の下落率7.1%を概ね1.4%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

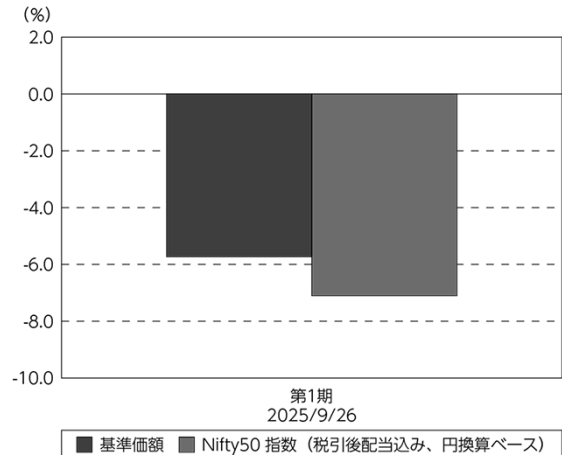
<プラス要因>

- ・ベンチマークと株価指数先物取引や外国為替先物取引とのパフォーマンスの差異。

<マイナス要因>

- ・売買手数料などの諸費用を支払ったこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第 1 期
	2024年10月 7 日～ 2025年 9 月26日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	137

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インデックス マザーファンド インド株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないます。

（インデックス マザーファンド インド株式）

引き続き、主として、内外の短期公社債に投資しつつ、インドの株価指数先物取引などを活用する方法を用いて、「Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年10月7日～2025年9月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	82	0.861	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(31)	(0.332)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.497)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.032)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	42	0.443	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(42)	(0.443)	
(c) そ の 他 費 用	26	0.278	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(17)	(0.182)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(9)	(0.092)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	150	1.582	
期中の平均基準価額は、9,488円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

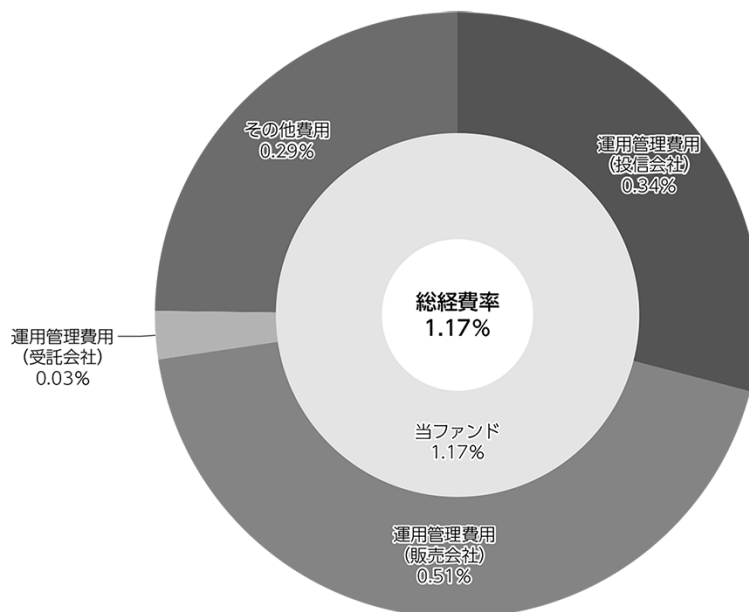
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。ただし、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年10月7日～2025年9月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インデックス マザーファンド インド株式	千口 395, 151	千円 383, 285	千口 28, 217	千円 28, 431

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月7日～2025年9月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年10月7日～2025年9月26日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年10月7日～2025年9月26日)

設定時 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 50	百万円 —	百万円 —	百万円 50	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2025年9月26日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
インデックス マザーファンド インド株式		千口 366,933	千円 358,383

(注) 親投資信託の2025年9月26日現在の受益権総口数は、464,161千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年9月26日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
インデックス マザーファンド インド株式	千円 358,383	% 99.6
コール・ローン等、その他	1,276	0.4
投資信託財産総額	359,659	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) インデックス マザーファンド インド株式において、当期末における外貨建純資産（443,282千円）の投資信託財産総額（458,703千円）に対する比率は96.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=149.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年9月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	359,659,057
コール・ローン等	1,275,117
インデックス マザーファンド インド株式(評価額)	358,383,923
未収利息	17
(B) 負債	1,240,245
未払信託報酬	1,090,647
その他未払費用	149,598
(C) 純資産総額(A－B)	358,418,812
元本	380,200,203
次期繰越損益金	△ 21,781,391
(D) 受益権総口数	380,200,203口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,427円

(注) 当ファンドの設定時元本額は50,000,000円、期中追加設定元本額は359,497,101円、期中一部解約元本額は29,296,898円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9427円です。

(注) 2025年9月26日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は21,781,391円です。

○損益の状況（2024年10月7日～2025年9月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,054
受取利息	2,054
(B) 有価証券売買損益	2,404,195
売買益	3,683,267
売買損	△ 1,279,072
(C) 信託報酬等	△ 1,487,777
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	918,472
(E) 追加信託差損益金	△22,699,863
(配当等相当額)	(95)
(売買損益相当額)	(△22,699,958)
(F) 計(D＋E)	△21,781,391
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	△21,781,391
追加信託差損益金	△22,699,863
(配当等相当額)	(859,025)
(売買損益相当額)	(△23,558,888)
分配準備積立金	4,369,847
繰越損益金	△ 3,451,375

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2024年10月7日～2025年9月26日）は以下の通りです。

項 目	2024年10月7日～ 2025年9月26日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,369,847円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	859,025円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	5,228,872円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	137円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2024年10月7日から2025年9月26日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第59条）
- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第58条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

インデックス マザーファンド インド株式

運用報告書

第1期（決算日 2025年9月26日）
（2024年9月10日～2025年9月26日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	2024年9月10日から原則無期限です。
運 用 方 針	主として、インドの金融商品取引所に上場されている株式および株価指数先物取引に係る権利ならびに内外の短期公社債などに投資し、インドの株式市場を代表する指数（Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	インドの金融商品取引所に上場されている株式および株価指数先物取引に係る権利ならびに内外の短期公社債などを主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

フ ァ ン ド 概 要

主としてインドの金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。以下同じ。）に投資しつつ、インドの株価指数先物取引などを活用する方法、または主として内外の短期公社債に投資しつつ、インドの株価指数先物取引などを活用する方法を用いて、インドの株式市場を代表する指数（Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。ファンドの状況や市況動向などを勘案して運用方法を決定しますが、上記の運用方法を組み合わせて投資を行なう場合もあります。

対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し委託者の判断により決定するものとします。

投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的のため、株価指数先物取引および外国為替先物取引ならびに外国為替予約取引などを活用することがあります。また、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は、上場投資信託証券などに投資する場合があります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<639198>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		Nifty50指数 (税引後配当込み、円換算ベース)		株 式 株 組 入 比 率	株 式 株 先 物 比 率	債 券 債 組 入 比 率	債 券 債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落 率	中 率	(ベンチマーク)	期 騰 落 率					
(設定日)	円	%		%	%	%	%	%	百万円
2024年9月10日	10,000	—	100.00	—	—	—	—	—	49
1期(2025年9月26日)	9,767	△2.3	96.44	△3.6	—	101.1	64.1	—	453

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
(注) 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) Nifty50指数は、インドのナショナル証券取引所に上場している企業のうち、時価総額や流動性などを勘案して選ばれた50社の株式で構成される株価指数です。同指数の(税引後配当込み、円換算ベース)とは、現地通貨ベースの税引後配当込み指数値をもとに、アモヴァ・アセットマネジメントが円換算したものです。なお、設定時を100として2025年9月26日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		Nifty50指数 (税引後配当込み、円換算ベース)		株 式 株 組 入 比 率	株 式 株 先 物 比 率	債 券 債 組 入 比 率	債 券 債 先 物 比 率
	騰 落 率	中 率	(ベンチマーク)	騰 落 率				
(設定日)	円	%		%	%	%	%	%
2024年9月10日	10,000	—	100.00	—	—	—	—	—
9月末	10,521	5.2	104.37	4.4	—	102.6	67.5	—
10月末	10,447	4.5	103.46	3.5	—	98.6	71.9	—
11月末	10,017	0.2	98.92	△1.1	—	99.3	73.7	—
12月末	10,280	2.8	102.27	2.3	—	101.0	75.4	—
2025年1月末	9,696	△3.0	96.16	△3.8	—	102.2	78.2	—
2月末	9,008	△9.9	89.69	△10.3	—	103.1	81.6	—
3月末	9,553	△4.5	95.74	△4.3	—	100.1	63.2	—
4月末	9,438	△5.6	94.58	△5.4	—	99.0	59.4	—
5月末	9,701	△3.0	97.75	△2.2	—	99.6	68.5	—
6月末	10,091	0.9	100.75	0.8	—	99.6	63.3	—
7月末	9,842	△1.6	98.37	△1.6	—	101.3	66.8	—
8月末	9,540	△4.6	94.36	△5.6	—	101.6	65.4	—
(期 末)								
2025年9月26日	9,767	△2.3	96.44	△3.6	—	101.1	64.1	—

(注) 騰落率は設定日比です。
(注) 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
(注) 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

○運用経過

(2024年9月10日～2025年9月26日)

基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、期間末に9,767円となり、騰落率は△2.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・インド準備銀行（RBI）が利下げを実施したことや大規模な金融緩和政策を実施し景気支援のスタンスを強化したこと。
- ・米国が日本や欧州連合（EU）と当初の関税率を引き下げることで合意し米国の相互関税による世界景気の過度な下振れ懸念が和らいだこと。

<値下がり要因>

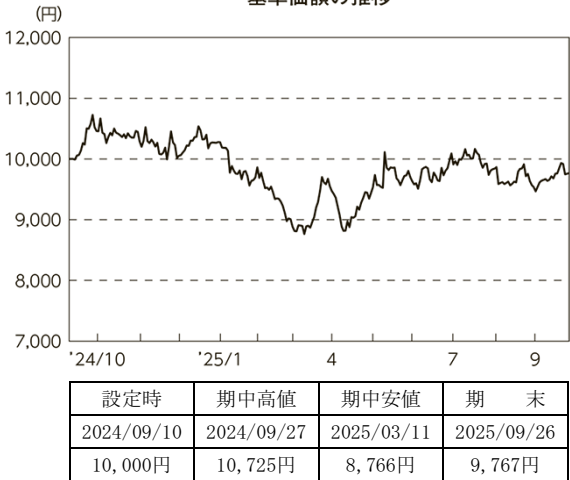
- ・インド主要企業の決算が低調となりインドの景気減速が意識されたこと。
- ・インドと米国との貿易交渉で農産物市場を巡る対立が伝わったこと。
- ・インドルピーが円に対して下落したこと。

(インド株式市況)

インド株式市場では、株価は期間の初めと比べて下落しました。

期間の初めから2025年3月中旬にかけては、市場予想を下回る経済指標を受けて米国の景気後退への警戒感が高まったことや、米国で新政権が発足し追加関税を巡る不透明感が強まったこと、インド主要企業の決算が低調となりインドの景気減速が意識されたこと、外国人投資家によるインド株式の売り越し基調となったことなどが株価の重しとなり、株価は下落しました。3月下旬から期間末にかけては、インドと米国との貿易交渉で農産物市場を巡る対立が伝わったことや、米欧が制裁しているロシアからの原油輸入を理由にインドが追加関税を課されると伝わり貿易摩擦の長期化が意識されたことなどが株価の下落要因となったものの、RBIが利下げを実施したことや大規模な金融緩和政策を実施し景気支援のスタンスを強化したことに加え、米国が日本やEUと当初の関税率を引き下げることで合意し米国の相互関税による世界景気の過度な下振れ懸念が和らいだこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）が追加利下げに踏み切り投資家のリスク選好姿勢が強まったことなどが支援材料となり、株価は上昇しました。

基準価額の推移



(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

主として内外の短期公社債に投資しつつ、インドの株価指数先物取引などを活用する方法を用いて、「Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的のため、株価指数先物取引および外国為替先物取引ならびに外国為替予約取引などを活用しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

期間中における基準価額は、2.3%の値下がりとなり、ベンチマークである「Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）」の下落率3.6%を概ね1.2%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

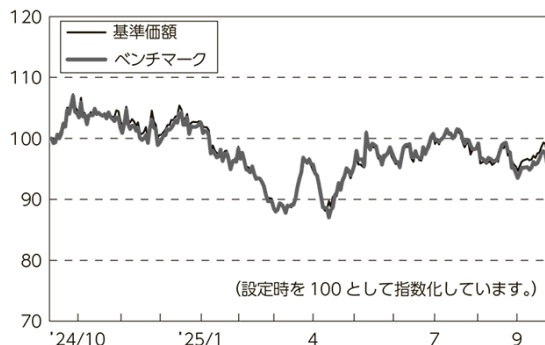
<プラス要因>

- ・ベンチマークと株価指数先物取引や外国為替先物取引とのパフォーマンスの差異。

<マイナス要因>

- ・売買手数料などの諸費用を支払ったこと。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○今後の運用方針

引き続き、主として、内外の短期公社債に投資しつつ、インドの株価指数先物取引などを活用する方法を用いて、「Nifty50指数（税引後配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 9 月10日～2025年 9 月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	円 45 (45)	% 0.459 (0.459)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	21 (21)	0.210 (0.210)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	66	0.669	
期中の平均基準価額は、9,844円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2024年 9 月10日～2025年 9 月26日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 6,069	千アメリカドル 3,948 (230)

(注) 金額は受け渡し代金。（経過利子は含まれておりません。）
(注) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別			買 建		売 建	
			新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	株式先物取引		百万円 3,553	百万円 3,095	百万円 —	百万円 —
	通貨先物取引		3,513	3,051	—	—

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月10日～2025年9月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年9月10日～2025年9月26日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年9月26日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	1,950	1,941	290,750	64.1	—	—	—	64.1
合 計	1,950	1,941	290,750	64.1	—	—	—	64.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	TREASURY BILL	—	600	598	89,693	2025/10/14
		TREASURY BILL	—	550	548	82,087	2025/10/28
		TREASURY BILL	—	800	794	118,969	2025/12/ 2
合 計						290,750	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄 柄 別			当 期	末
			買 建 額	売 建 額
外 国	株式先物取引	IFSCNIFY	百万円	百万円
			458	—
	通貨先物取引	INRUSD	458	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2025年9月26日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公社債	千円		%
	290,750		63.4
コール・ローン等、その他	167,953		36.6
投資信託財産総額	458,703		100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（443,282千円）の投資信託財産総額（458,703千円）に対する比率は96.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=149.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年9月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	467,526,700
コール・ローン等	105,315,442
公社債(評価額)	290,750,905
未収入金	8,968,434
未収利息	132
差入委託証拠金	62,491,787
(B) 負債	14,164,968
未払金	14,164,968
(C) 純資産総額(A－B)	453,361,732
元本	464,161,020
次期繰越損益金	△ 10,799,288
(D) 受益権総口数	464,161,020口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,767円

(注) 当ファンドの設定時元本額は49,995,000円、期中追加設定元本額は442,750,735円、期中一部解約元本額は28,584,715円です。

(注) 2025年9月26日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・インデックスファンドNifty50（インド株式） 366,933,473円

・インデックスファンドNifty50（適格機関投資家向け） 97,227,547円

(注) 1口当たり純資産額は0.9767円です。

(注) 2025年9月26日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は10,799,288円です。

○損益の状況 (2024年9月10日～2025年9月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	9,372,864
受取利息	8,053,515
その他収益金	1,319,349
(B) 有価証券売買損益	11,923,308
売買益	12,970,014
売買損	△ 1,046,706
(C) 先物取引等取引損益	△21,910,084
取引益	30,459,946
取引損	△52,370,030
(D) 保管費用等	△ 507,113
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 1,121,025
(F) 追加信託差損益金	△ 9,471,001
(G) 解約差損益金	△ 207,262
(H) 計(E+F+G)	△10,799,288
次期繰越損益金(H)	△10,799,288

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2024年9月10日から2025年9月26日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

●当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)

②法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第50条)

③当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第52条)